

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立名護屋小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	・「●業務改善・教職員の働き方改革の推進」以外は、「B:おおむね達成できている」の評価であった。さらなる児童への意識付けと指導の徹底が必要である。また、具体的取組については成果に結び付くよう検討を要する。 ・「ふるさとを愛し、夢に向かって自ら輝く児童の育成」を目指して、教育課程に地域学習を位置付け、地域のヒト・モノ・コトを活用した特色ある学校づくりを目指したが、教員の意識がやや不足している。
2 学校教育目標	育てよう！未来を広げる「賢さ」「優しさ」「逞しさ」 ― ふるさと名護屋をステージに ―
3 本年度の重点目標	■賢 さ〜しっかりと考え、自ら進んで学ぼうとする子どもを育てる。 ■優しさ〜思いやりの心を持ち、仲良く協力し合う子どもを育てる。 ■逞しさ〜チャレンジ精神を持ち、最後まであきらめない子どもを育てる。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学習に対する心構え及び学習規律の定着	○授業前の学習用具の準備率を90%以上にする。 ○授業中、自分の考えや意見を発表することができる児童の達成率を80%以上にする。 ○授業中、友達や先生の話をしっかりと聞くことができる児童の達成率を90%以上にする。	・毎学期、学習規律に関する「学びの構え」アンケートと、学習に必要な生活習慣に関する「よい子のくらし」アンケートをとり、取り組みに対する進捗状況を確認める。 ・取り組みに対する進捗状況や結果を、学校だよりや学級通信、懇談会などで紹介したり、啓発したりして、目標達成に向けた更なる意欲の向上を図る。		・		・		・学力向上対策コーディネーター	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童生徒が年間1回は月目標を達成し、○○名人となるようにする。 ○公の場で相手を尊重する呼称(さん)を付けることのできる児童を80%以上にする。 ○みんなに、自分から挨拶できる児童を80%以上にする。	・月目標の達成者を○○名人として放送することで、めあて達成への意識づけを行う。また、年間を通して○○名人を掲示することで達成への意欲を高める。 ・～さんと呼ぶことができるかを、月目標の振り返りで確認し、評価する。 ・挨拶に対する達成度を確認める機会を設けたり、挨拶運動週間を設定したりする。		・		・		人権・同和教育担当者	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○Q-Uテストで「学級生活満足群」の割合を70%以上にする。 ○いじめ未解決案件を0件にする。	・学校生活アンケートを学期に一回実施し、状況把握と児童の困り感の解決に努める。 ・学校生活において、児童の困り感を職員連絡会等で共通理解する。 ・Q-Uテストの結果を基に、SCやSSW等と協力しながら良好な対人関係を築く。		・		・		豊か部主任	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●児童へのアンケートにおいて、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合を90%以上にする。 ●◎児童へのアンケートにおいて、「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童生徒を85%以上にする。	・校内研究の充実を図り、楽しく分かる授業を展開するように努める。また、各教育活動において、児童への称賛的な声掛けや支援を意識した指導を行う。 ・努力して達成可能な年間の目標や各学期のめあてなどを立てさせると共に、それに向かって自ら率先して行動に移せるように環境を整え支援を行う。		・		・		(主)教務主任	
	○毎日の登下校指導	○毎日の登校の集合時間を守っていたり、地域の方へ挨拶をしたりしている児童を80%以上にする。	・5～6年生の地区長を月末に集め、登下校の評価をさせたり、問題を話し合ったりする。		・		・		豊か部主任	
	●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化 ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒100%	・職員や委員会からの広報により外遊びを奨励したり、外遊びをよくしている学年を称賛したりする。また、もりもり健康委員会と連携し、全校遊びに取り組む。 ・スポーツチャレンジの記録を毎回更新しようとする意欲を継続するために、記録を掲示したり学級だよりで広報したりする。 ・学級指導や保健だよりで食事の大切さを伝えていく。 ・健康観察記録表に月毎に食の大切さを意識できる標語を載せる。		・		・		体育主任
○早寝をして、望ましい生活習慣を身に付ける		○毎日の健康観察で、決められた時間に寝ている児童を80%以上にする。	・毎日の健康観察時に、早寝ができていない子の理由をたずね、改善していく。 ・学期ごとの「よいこのくらしアンケート」で、保護者からもチェックしてもらう。		・		・			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務を見直し改善を図る。会議の精選、学校行事、業務分担、校務分掌について検討する。 ・地域との連携強化を図る。地域人材に担ってもらう体制を整える。		・月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合□□%		・		管理職	
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	・		・		・			
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する意識の向上を目指す	○特別支援教育に関する意識が向上したと回答した教員80%以上	・研修、講座等の内容を職員研修会で情報共有・共通理解する。 ・職員連絡会等で定期的に気にとめおく児童の情報交換をする。		・		・		教育相談主任	

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○地域に開かれた学校づくりの推進	○総合的な学習の時間「ふるさと名護屋」の実践 ○学校の教育方針並びに教育活動の広報	○「名護屋の自慢に気付いた」児童60%以上 ○学校における教育活動の様子を家庭や地域に向けて積極的に発信する。			・ ・名護屋城跡をはじめ、ふるさとのヒト・モノ・コトについて地域の人と学び、関心をもたせる。 ・学校だよりの発行や学校HPの更新等に努める。		・		・		
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)		・		・					

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------